【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和4年11月8日(2022.11.8)

【公開番号】特開2022-33295(P2022-33295A)
【公開日】令和4年2月28日(2022.2.28)
【年通号数】公開公報(特許)2022-035
【出願番号】特願2022-616(P2022-616)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ 21/16(2006.01)
Ｇ０３Ｇ 15/08(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ 21/16 １７６
Ｇ０３Ｇ 21/16 １２０
Ｇ０３Ｇ 15/08 ３４８Ｂ
Ｇ０３Ｇ 15/08 ３９０Ａ
Ｇ０３Ｇ 21/16 １４７

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月28日(2022.10.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１感光ドラムと、
前記第１感光ドラムにトナーを供給する第１現像ローラと、
前記第１現像ローラに供給されるトナーを収容するための第１収容容器であって、前記第１収容容器にトナーを補給するためのトナーボトルを挿入可能な第１受入口であって、前記トナーボトルが挿入された状態で前記トナーボトルからトナーを受け入れ可能であり、前記第１収容容器へのトナーの補給が完了した後、前記トナーボトルが取り外される第１受入口と、トナーを排出するための第１排出口とを有する第１収容容器と、
前記第１受入口を閉鎖する閉鎖位置と、前記第１受入口を開放する開放位置との間を回動可能な壁を有する本体ケーシングと、を備えることを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】
前記第１感光ドラムと前記第１現像ローラとを備えるプロセスユニットであって、前記本体ケーシング内に位置する装着位置と、前記本体ケーシング外に位置する引出位置との間を、前記第１感光ドラムの回転軸線が延びる方向である第１方向と交差する方向に移動可能なプロセスユニットを備える、請求項１に記載の画像形成装置。
【請求項３】
本体ケーシングと、
第１感光ドラムと、前記第１感光ドラムにトナーを供給する第１現像ローラと、を備え、前記本体ケーシング内に位置する装着位置と、前記本体ケーシング外に位置する引出位置との間を、前記第１感光ドラムの回転軸線が延びる方向である第１方向と交差する方向に移動可能なプロセスユニットと、
前記第１現像ローラに供給されるトナーを収容するための第１収容容器であって、前記第１収容容器にトナーを補給するためのトナーボトルを挿入可能な第１受入口であって、前記トナーボトルが挿入された状態で前記トナーボトルからトナーを受け入れ可能であり

、前記第１収容容器へのトナーの補給が完了した後、前記トナーボトルが取り外される第１受入口であり、前記第１方向において前記第１現像ローラよりも外側に位置する第１受入口を有する第１収容容器と、を備え、
　前記本体ケーシングは、前記第１受入口を閉鎖する閉鎖位置と、前記第１受入口を開放する開放位置との間を回動可能な壁を有することを特徴とする画像形成装置。
【請求項４】
前記第１受入口は、前記第１収容容器の上端部に位置し、
前記壁は、前記第１収容容器の上方に位置し、
前記開放位置にある前記壁は、前記第１受入口の上方を解放することを特徴とする、請求項１から請求項３のいずれか一項に記載の画像形成装置。
【請求項５】
前記壁は、第１蓋を有し、
前記第１蓋は、前記壁の回動に伴って、前記第１受入口を閉鎖する位置と前記第１受入口を開放する位置との間を移動することを特徴とする、請求項４に記載の画像形成装置。
【請求項６】
前記第１蓋が前記第１受入口を開放する位置に位置した状態で、前記第１受入口は、上方に向けて解放されることを特徴とする、請求項５に記載の画像形成装置。
【請求項７】
前記第１受入口を通じて補給されたトナーを、前記第１現像ローラに向けて搬送するように構成される搬送部をさらに有する請求項１から６のいずれか一項に記載の画像形成装置。
【請求項８】
前記第１感光ドラムの回転軸線が延びる方向である第１方向および上下方向の両方と交差する並び方向において前記第１感光ドラムと並ぶ第２感光ドラムと、
前記第２感光ドラムにトナーを供給する第２現像ローラと、
　前記第２現像ローラに供給されるトナーを収容するための第２収容容器であって、前記第２収容容器にトナーを補給するための第２トナーボトルを挿入可能な第２受入口であって、前記第２トナーボトルが挿入された状態で前記第２トナーボトルからトナーを受け入れ可能であり、前記第２収容容器へのトナーの補給が完了した後、前記第２トナーボトルが取り外される第２受入口と、トナーを排出するための第２排出口とを有する第２収容容器と、
を備えることを特徴とする、請求項１から請求項７のいずれか一項に記載の画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
　本発明の画像形成装置は、第１感光ドラムと、第１感光ドラムにトナーを供給する第１現像ローラと、第１現像ローラに供給されるトナーを収容するための第１収容容器と、本体ケーシングとを備える。第１収容容器は、第１受入口と第１排出口とを有する。第１受入口は、第１収容容器にトナーを補給するためのトナーボトルを挿入可能である。第１受入口は、トナーボトルが挿入された状態でトナーボトルからトナーを受け入れ可能である。第１収容容器へのトナーの補給が完了した後、トナーボトルは、第１受入口から取り外される。第１排出口は、トナーを排出する。本体ケーシングは、第１受入口を閉鎖する閉鎖位置と、第１受入口を開放する開放位置との間を回動可能な壁を有する。